

# 行動する・役立つ

## 「外国人市民会議」を目指して

— 当事者視点を生かした

コーディネーションコーディネーション

崔 英善 (ちえ・よんそん)

藤沢市外国人市民会議コーディネーター

[mongunny27@yahoo.co.jp](mailto:mongunny27@yahoo.co.jp)

「多文化共生フォーラムin Nagoya」 → 「つなぐ」人 (分科会3) トヨタ財団 2014年8月24日

# 外国人市民会議の概要

## 1. 構成メンバー：11名（2014.7.6現在）

### 国籍別

国名	中国	韓国	ドイツ	デンマーク
人数(名)	3	2	1	1
国名	イギリス	ペール	ブラジル	エルサルバドル
人数(名)	1	1	1	1

### 性別

性別	女性	男性
人数(名)	9	2

外国人数  
約5,000人

# 選出方法

## 募集方法

### 推薦の依頼

#### 1. 学生委員

- ① 市内の4大学へ

#### 2. 一般市民委員

- ① 市内の会社へ
- ② 日本語教室・国際交流団体等へ

## 任期

### 任意

#### 1. 学生委員

#### 2. 一般市民委員

- ① 会社員
- ② 主婦層は安定的

#### 3. 年度ごとに欠員の補充



# 外国人市民会議の運営方法

## 1 管轄

藤沢市企画制作部平和国際課

## 2. 立ち上げ

2012.1.22 (第1回目)

## 3. 会議の回数

①年に3～4回 (全9回開催)

②1回：2時間程度



# コーディネーターの役割（現在）

1. 市民会議の方向性の模索  
：活動内容の提案
2. 委員の構成
3. 会議進行（内容通訳？）
4. 行政と委員との調整

# 外国人市民会議の活動の内容

## 提言（提案）活動

- 暮らしの改善(防災、日本語教室等の連携等)
- 政策への改善案（行政刊行物 等）

藤沢市市民会議  
の特徴

## アクション活動

- 多文化共生まちづくりに、直接成果が表れる活動

# 「藤沢市グローバルビジョン」に向けて (2012年策定)



# つなぐ (現在)

外国人委員

バイリンガル



バイカルチャー



日本在住の  
こども  
(国籍不問)

# アクション活動の提案・ 実行の流れ

## 1.事業の構想

①事業名：（仮称）グローバル人材（中・高校生）パビリオン

### ②内容

1部：グローバル人材育成のための、  
心得や気づきのワークショップ（経済的な観点）

2部：大使によるグローバルパビリオンの体験

## 2.行政側に提案

## 3.草案作成

4.会議への提案：2013.10.5（第4回の会議）→決定

5.開催：2014.5.20（4回の準備会議（内、自主打合せ1回）

# 実行（題名の変更）

**世界の経済と文化を体験しよう!**

世界の経済を体験できるワークショップや、世界各国の様々なパビリオンを通して、日本グローバル人材として活躍する心算を学びましょう。

**第1部 ワークショップ 貿易ゲーム**  
世界の「貿易」を疑似体験、グローバルな視点を身につけよう!  
※申込：本庁を通じて（〒640-0201 長岡市市民センター 1階101号）※要予約

**第2部 グローバルパビリオン**  
イギリス、ドイツ、ベルギー、中国、韓国のパビリオンを訪ねて、外国人市民から直接、各国の文化を学ぶ。

**5月25日(日) 午後1時～4時45分**

**長後公民館 ホール**  
長岡市市民センター TEL:0466-46-7373（市民センター）※要予約

**対象** 中学生・高校生 40人（予定）

**申込** 5月15日（木）までお申し込みください。  
申込先：市民センター101号（〒640-0201 長岡市市民センター 1階101号）※要予約  
TEL:0466-50-3300 FAX:0466-50-3427  
E-MAIL: [kenkou@city.nagaoka.lg.jp](mailto:kenkou@city.nagaoka.lg.jp)

**お問い合わせ先**  
市民センター101号  
電話：0466-50-3300

**お問い合わせ先**  
市民センター101号  
電話：0466-50-3300

# 世界の経済と文化体験をしよう

(写真：藤沢市HPより)



第1部貿易ゲーム

# 世界の経済と文化体験をしよう

(写真：藤沢市HPより)



第2部グローバルバビリオン

# 結果と今後

1. 参加者：38名（内、生徒21名）

2. 結果

▶ 生徒：アンケート（19名）

18名：外国に興味を持った。

多数：思ったより良かった。

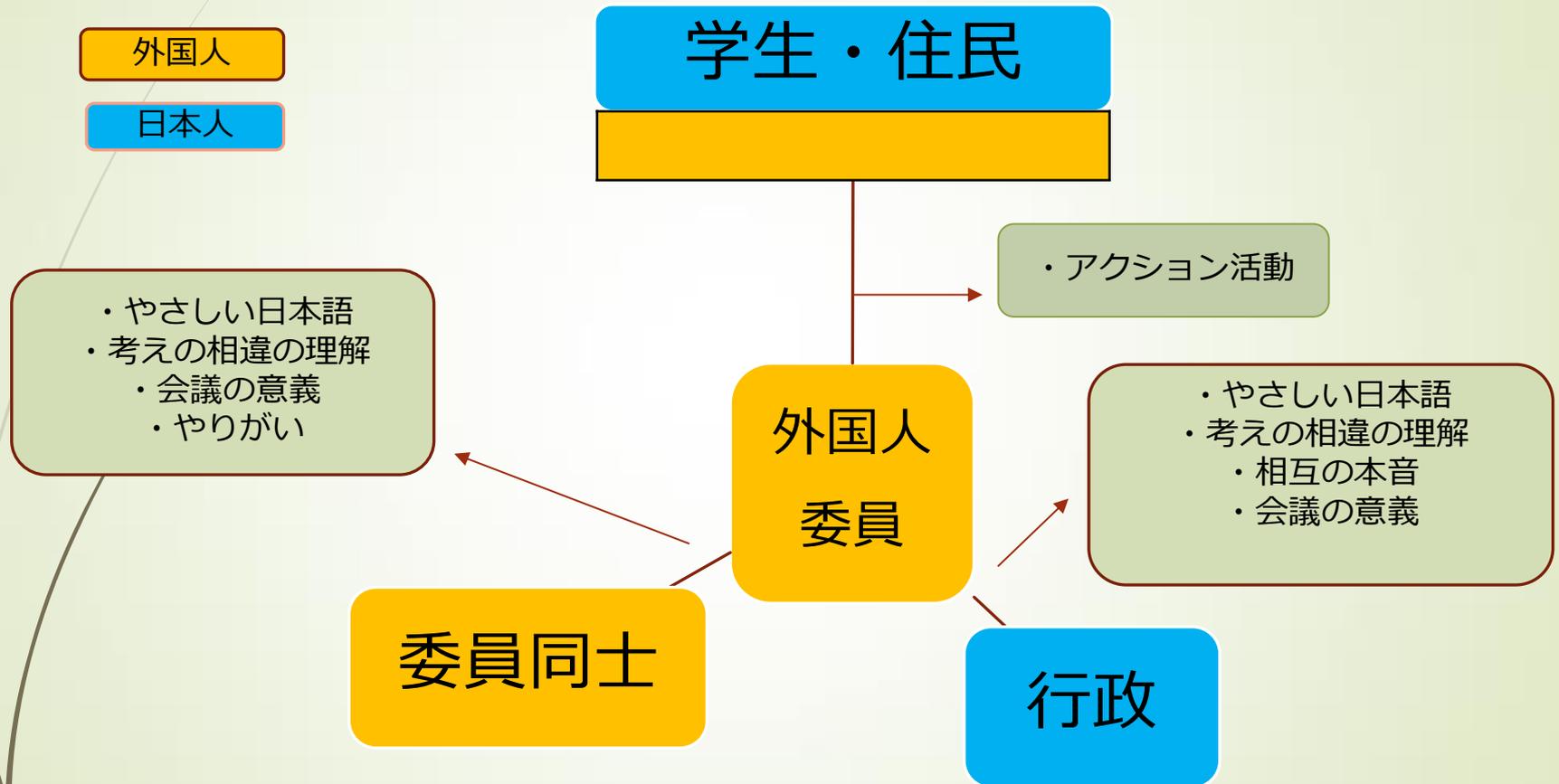
▶ 委員：口頭（7名）

準備は大変だったが、意義があった。



市内市民センターと連携開催へ

# つなぐ (コーディネーション)



# 当事者コーディネーターとして

## メリット

当事者視点

本音の環境（信頼）

コミュニケーション

- ・ 信念
- ・ 楽しむ
- ・ 諦めない

## デメリット

高度な言語力・文化力  
（経験・相談）

信頼

- ・ 外国人の社会参加スタイルの提案
- ・ 多文化共生の意義の共有  
（相互扶助）